平成26年8月28日

大阪大学

生命機能研究科

柳田 敏雄 特任教授

情報科学研究科

ヒューマンウェア博士後期課程プログラム第一期生

徳山 健斗

ビデオレター撮影のお願い

拝啓、時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、このたび潜在的なヒューマンウェアイノベーション博士課程プログラム学生の勧誘に向け、来る9/29(月) に学部3，4回生を対象としたセミナーを開催することになりました。つきましては、ご多忙中誠に恐縮ですが、柳田先生に生命機能研究科を代表してビデオレターという形で出演して頂けないかと思い、ご連絡差し上げております。撮影内容に関しては下記の通りです。

　先生のお話は、学部生に対しヒューマンウェアイノベーション博士課程プログラムを人生の選択肢の一つとして考えてもらうために、非常に有益な指針になると確信しております。

　なお、お手数ですが、ご都合のよい時間を9月4日(木)までにお返事を頂けますと幸いです。何卒よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

1. 日時 9月8日～20日10時～18時のどこか、１時間程度

2. 場所 先生ご指定の場所。

3. 形式 学部生に向けたメッセージ、学生によるインタビュー

4. 内容 次頁をご参照ください。

以上

【先生にお話し頂きたい内容】

* 柳田先生の研究、ゆらぎの概念などの簡単なご紹介。
* 異分野融合の必要性。
* ヒューマンウェアイノベーション博士課程プログラムの意義。

【学生によりインタビューさせて頂く内容】

・柳田先生が学部生の時には自分の将来についてどう考えていましたか。

・先生は修士を出て就職した後に博士 (しかも異分野) に戻っていますよね。当時の状況や想いについて、語って頂いてもよろしいでしょうか。

・最近の理系は修士卒で就職することがスタンダードになっている感がありますが、先生が考える博士課程進学のメリットとはどのようなものでしょうか。

・当時/現在の博士課程と比べて、ヒューマンウェアイノベーション博士課程プログラムの制度をどう思いますか。

・柳田先生の言葉に「ふらふらしている人がいい仕事をする」がありますが、これはどういうことでしょうか。

インタビュアー：生命機能研究科　古林 太郎